

# 「格差社会への対抗軸を考える—農村の現実から」

近年、日本では個人の所得をはじめ地域間の格差が拡大し社会問題となっていますが、農村でもさまざまな格差の拡大がみられます。現在、その改善が農政上の重要課題となっていますが、本来、平等・公正・連帯などの協同組合理念を基本とする農協には、この格差拡大の対抗軸としての機能発揮が期待されています。今回のシンポジウムでは、こうした課題に対する農協の役割と取り組みについて、農村の実態に基づいて広く討論したいと思います。多数の皆さんのご参加を期待しています。

## シンポジウム「格差社会への対抗軸を考える—農村の現実から」

日時：2007年4月21日（土）13時30分から16時30分

場所：東京大学 弥生講堂（東京都文京区 東京大学構内）

参加費：無料

シンポジウム終了後、懇親会を予定しております。参加費 5,000円



司  
会

東京農工大学名誉教授  
梶井 功氏



明治大学教授  
小田切 徳美氏

報  
告  
農山村の現状と  
地域再生の課題



政治評論家  
森田 実氏

講  
演  
日本の政治・社会状況と  
進むべき道



お問い合わせ先 **農業協同組合研究会事務局**  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-1-15  
藤野ビル4F(社)農協協会内  
電話:03-3639-1121  
FAX:03-3639-1120  
Eメール:nokyoken@jacom.or.jp

**東京大学 弥生講堂**  
東京都文京区弥生1-1-1（東京大学構内）  
**交通**  
・東京メトロ南北線「東大前駅」徒歩1分  
・東京メトロ千代田線「根津駅」徒歩8分